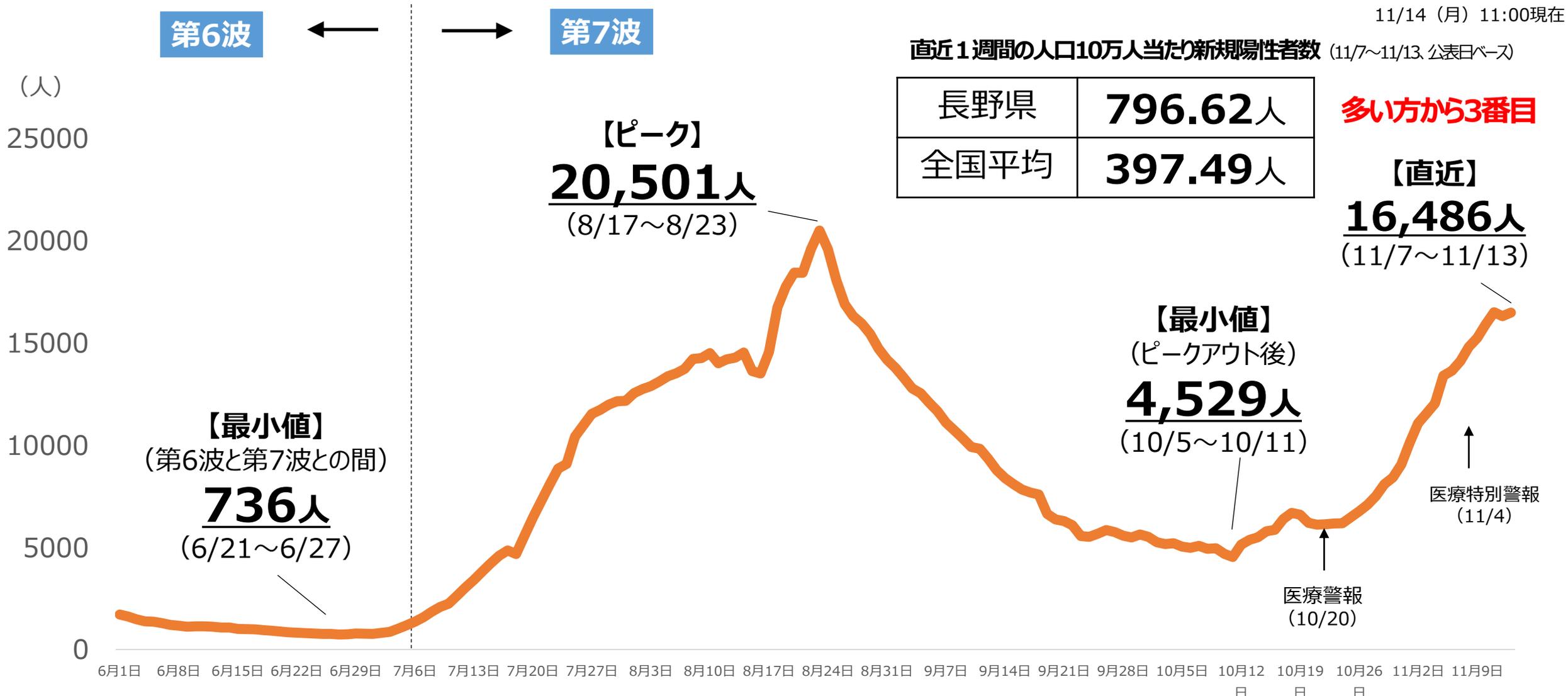


11月14日（月） 知事会見

全県に「医療非常事態宣言」を発出します

直近1週間の新規陽性者数の推移 (R4.6~)

医療特別警報 (11/4) も増加傾向が継続



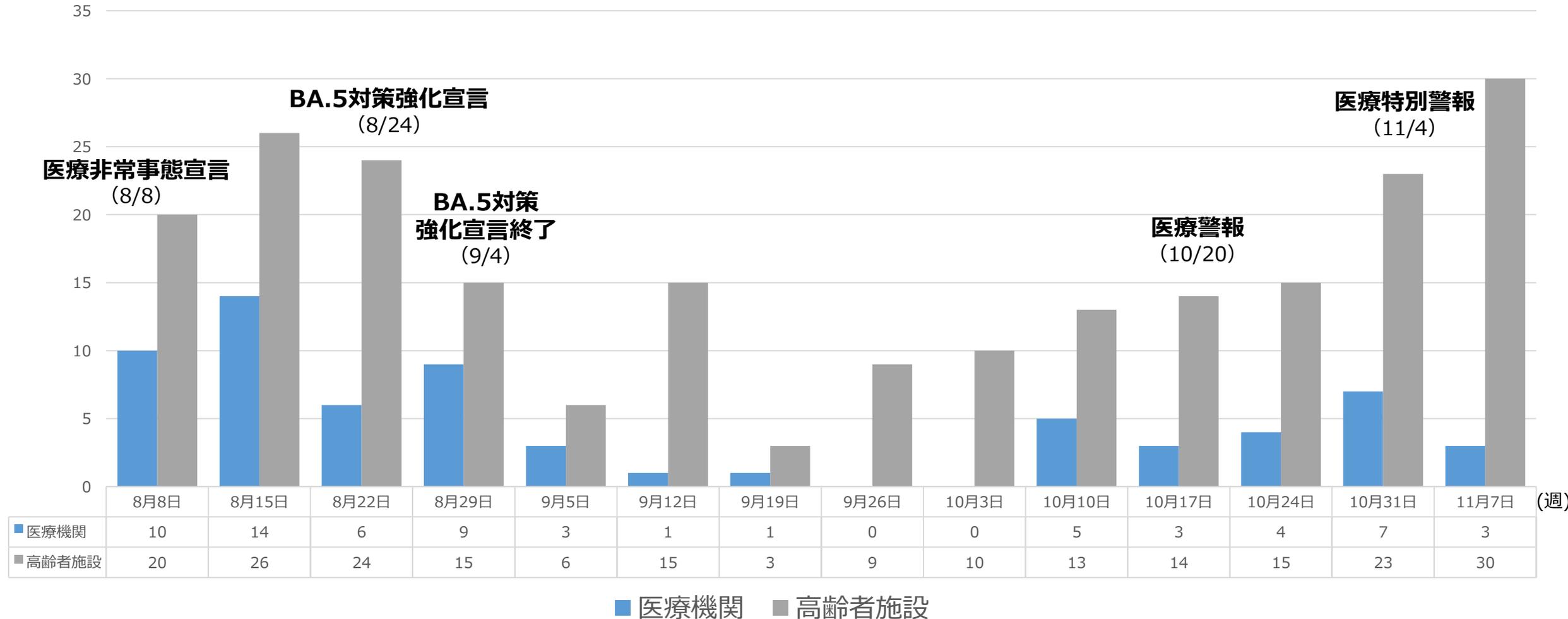
※医療機関からの報告日ベース

高齢者施設、医療機関における集団的感染の発生状況

特に高齢者施設での発生が増加

(件)

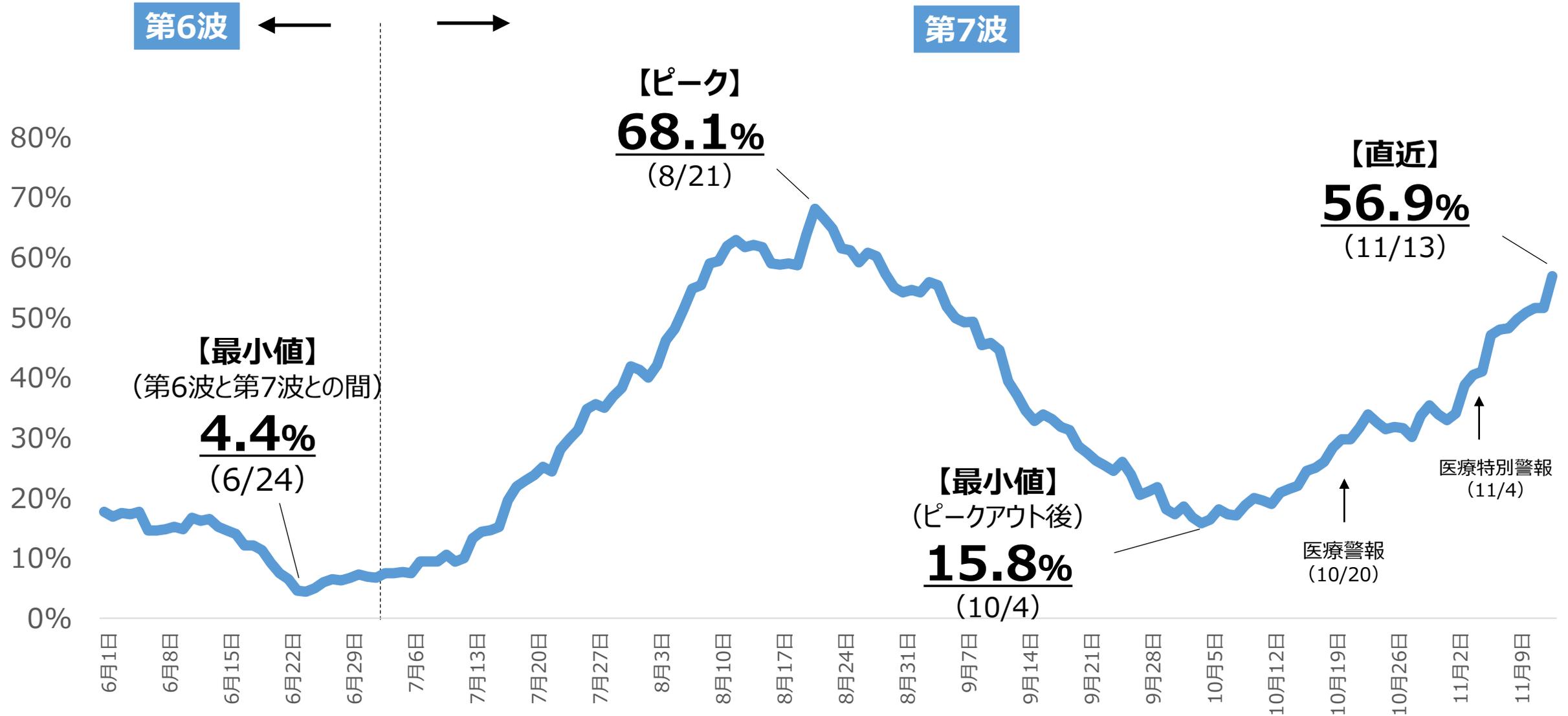
11/13 (日) 20:00現在



確保病床使用率の推移 (R4.6~)

昨夜 (11/13) 時点で56.9%まで上昇 (医療非常事態宣言の発出目安50%を4日連続で超過)

11/13 (日) 20:00現在

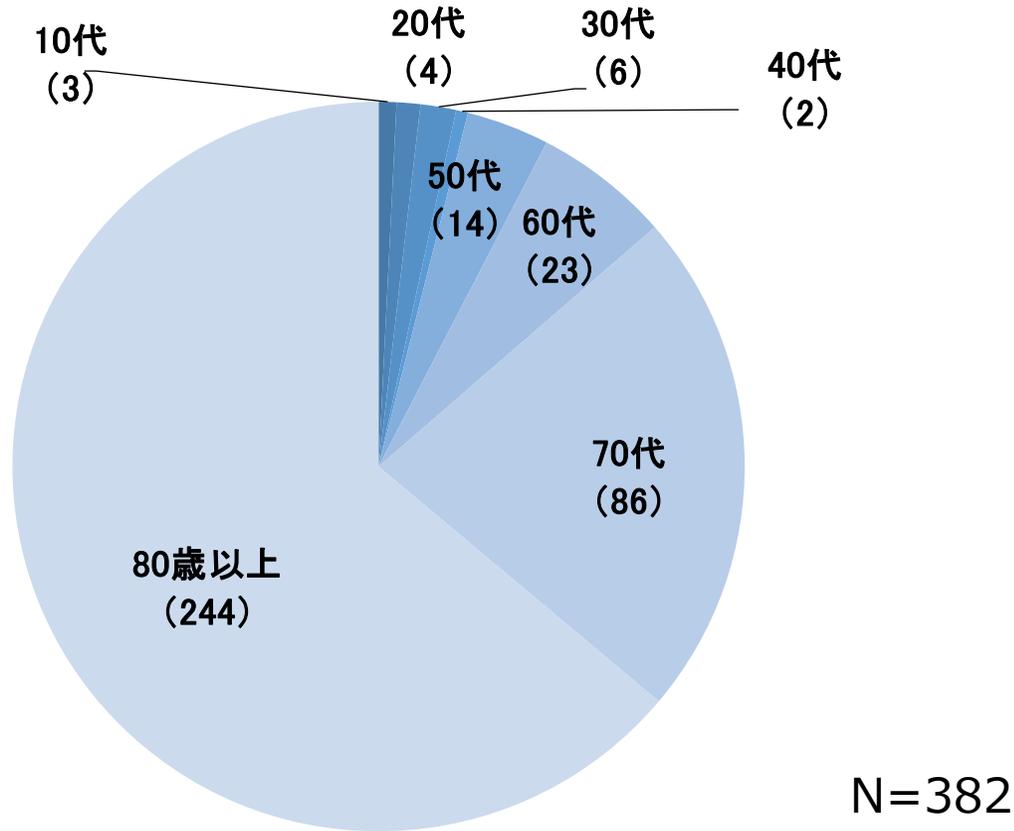


入院者の状況

11月13日時点で、入院者の約90%、中等症以上の方の約96%を高齢者が占めている

11/13 (日) 20:00現在

【入院者の年代】



うち、65歳以上 343人 (89.8%)

【中等症以上の方】

重症	2人
中等症	100人
計	102人

うち65歳以上 98人 (96.1%)

R4年7月以降の重症度（年代別）

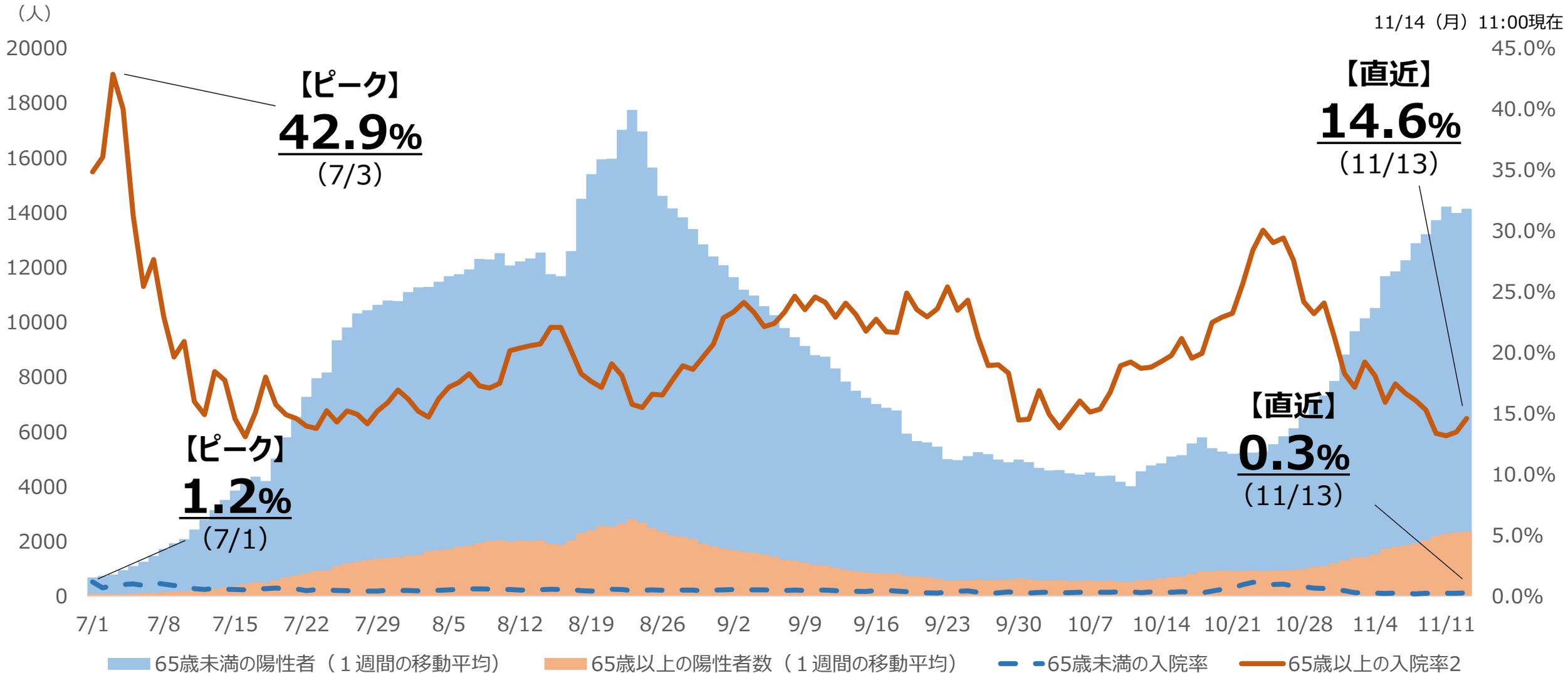
中等症以上に症状が悪化する方は65歳以上の高齢者に多い

■ 7月1日～11月5日の年代別重症度

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60-64歳	65-69歳	70代	80代以上
新規陽性者数 (A)	52,548	20,274	24,536	27,278	18,097	6,319	4,972	8,213	8,008
無症状・軽症 (B)	52,532	20,260	24,521	27,256	18,040	6,293	4,917	7,931	6,960
中等症以上 (C)	16	14	15	22	57	26	55	282	1,048
中等症以上の者の割合 (C/A)	0.03%	0.07%	0.06%	0.08%	0.31%	0.41%	1.11%	3.43%	13.09%

R4.7以降の入院率（高齢者・高齢者以外）

入院する方は65歳未満では少なく、直近では65歳以上の陽性者の約15%が入院している



※入院率 = 各日時点の入院者数/直近1週間の新規陽性者数（医療機関からの報告日ベース）

	重症化率 <small>(注1)</small>		(参考) 致死率 <small>(注1)</small>	
	60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上
新型コロナ・ オミクロン株流行期 <small>(注3、4)</small>	0.03%	<u>2.49%</u>	0.01%	1.99%
新型コロナ・ デルタ株流行期 <small>(注3)</small>	0.56%	5.0%	0.08% <small>(注2)</small>	2.5% <small>(注2)</small>
季節性 インフルエンザ <small>(注3)</small>	0.03%	<u>0.79%</u>	0.01%	0.55%

※季節性インフルエンザはNDBにおける2017年9月から2020年8月までに診断または抗インフル薬を処方された患者のうち、28日以内に死亡または重症化（死亡）した割合である。新型コロナは協力の得られた3自治体のデータを使用し、デルタ株流行期の場合は2021年7月から10月、オミクロン株流行期の場合は2022年1月から2月までに診断された陽性者のうち、死亡または重症化（死亡）した割合であり、感染者が療養解除した時点、入院期間が終了した時点、デルタ株流行期の場合は届出から2ヶ月以上経過した時点又はオミクロン株流行期の場合は令和4年3月31日時点でのステータスに基づき算出している。年齢階級別の重症化率においても概ね同様の傾向が見られるが、比較する際にはデータソースの違いや背景因子が調整されていない点等に留意が必要。

(注1) 重症者や死亡者の定義については以下を参照。新型コロナと季節性インフルエンザの重症化の定義は厳密には異なっている点に留意。

新型コロナ：<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000929082.pdf>

季節性インフルエンザ：<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000906106.pdf>

(注2) オミクロン株流行期については3月31日時点の報告に基づき算出しており、特に致死率について過小である可能性がある。

(注3) 季節性インフルエンザ・新型コロナともに分母に未受診者が含まれないため、重症化（致死）率が過大である可能性がある。

(注4) オミクロン株の亜系統であるBA.2やBA.5の流行期データではない点に留意が必要である。

<出典>

第80回厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 事務局提出資料 (<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000929082.pdf>)

第70回厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 事務局提出資料 (<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000892299.pdf>)

第74回厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 野田先生提出資料 (<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000906106.pdf>) を再集計

外来のひっ迫状況

今後の感染拡大により更なる外来診療のひっ迫が懸念される

G-MISによる診療・検査医療機関（外来診療）へのひっ迫度調査

- 外来患者への診療・検査に支障があると回答した医療機関の割合は
前回の医療非常事態宣言発出時（8月8日～8月12日の週）の約6割
（10月31日～11月4日の週）まで上昇

第8波を迎えたものと考えられる

- 第6波までの収束期水準に下がらないまま、オミクロン株BA.5系統による感染が再拡大
- 本県の新規陽性者数、確保病床使用率はともに、夏の第7波のピークに迫る勢い
【夏のピーク】 直近1週間あたり新規陽性者数 20,501人 (8/17~8/23)
確保病床使用率 68.1% (8/21)
- 県内でもオミクロン株の新たな亜系統「BA.2.3.20」や「BQ.1.1」を確認
- 全国的に新規陽性者数が増加傾向、確保病床使用率も上昇傾向

全県に県独自の

医療非常事態宣言

を発出します

- 医療関係者や市町村等のご協力をいただきながら、医療検査体制の整備やワクチン接種の促進などに全力で取り組む
- 県民の皆様等へ基本的な感染対策の徹底などを強く呼びかける一方、社会経済活動については、当面できるだけ維持する

目標

① 確保病床使用率

過去の最大値（68.1%：R4.8.21）以下でピークアウトさせる

② 外来診療と救急医療

真に対応が必要な方に対する受診機会等を確保する

オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種を！

オミクロン株対応ワクチンは、前回接種から**3か月**で接種できます。

対象となる方

2回目以上接種済の12歳以上の方

接種できる場所

各市町村の医療機関や接種会場、県の接種会場（**県内10広域12会場**）

11・12月に全県で**約118万回分**の接種枠を確保

県の接種会場の取り組み

- 「**予約なし接種**」が可能です
- 企業団体等の予約をまとめて受け入れる「**団体接種**」を受け付けています
- 職場や大学等へ出向いて接種を行う「**ワクチンキャラバン隊※**」を派遣します
※別添プレスリリース参照
- 「**高齢者施設への巡回接種**」も引き続き実施します

●接種には原則**接種券**が必要です。お手元がない場合は、お住まいの市町村へお問合せください

感染が再拡大していますので、早期の接種をお願いします

特に、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方等には接種を強く推奨します